

了。

失恋 「恋」の巾の手まねをして、そのハ
ート形をつけた左側に、右手の人差指を突き
刺す。

支店 店——支部

自転車 両手で枝ハンドルを操作する身振
をして、指を前方にさし掌を下に向けた両手
で交互にペダルを踏む真似。

自動車 円まハンドルめ操作する身振。

忍ぶ 「こらえる」と同じ手まね。

芝居 「演劇」と同じ手まね。

屢々 「時々」のと同じ手まね。しかし、
この人差指の運動の間を短くし度数を多くす
る。

支部 五指の指頭を集め合わせた両手を左
右にその指頭でつけ合わせ、左手をそのまま
残して、右手を前へ糸を引き出すように出し
てとめる。

自分自身（自分独り）「私」と人差指で自
分の鼻をさして、その人差指の指頭を胸につ
け、その指頭で胸を上へすり上げて、自然に
指を離して、前に出す。

資本 商い——初める——金銭。但し、この
「金銭」は右胸脇で、積み重ねるように下か
ら上げて行く。

次男 第二——生れる——男性（中指）

島 左手の掌を下向け、五指をまるく彎曲
して、それを島として、一方上向けた右手
の掌を海面として、左手の周囲を巡ぐらせ
る。

姉妹 「兄弟」と同じ要領で両手の薬指を
胸の前で平行にならべ一方を少し下げる。

しまった 下手——残念（遺憾）

自慣 鼻頭を五指でつまむようにして、そ
のまま手を前へ引き出す。鼻を高くすること
事務 左手肘を机につけた姿態をして、そ

の左手の手甲の上に右手の手首をのせ、文字を書く身振。

氏名 (ハ) 右手の親指と人差指で輪をつくったのを、他の三指は伸ばしたまま左胸にあてがう。丸い名札を胸につけるように。(ハ) 左手掌の上に、拇印を押すように右手の親指を押しつける。

使命 「責任」と同じ手まね。

人差指で上(天)をさし(神の命)で、「責任」の手まねをするもよし。

メ切 (ハ) 「終り」と同じ手まね。(ハ) 左手掌の上に、右手の人差指の指頭でX字を書く。

閉める 五指の指頭を上さにさし掌を前に向けた両手を左右から戸を閉めるように相寄せしてびったりと両手を左右にならべ合わせる。

霜 朝—白—道—白—道—白—。道を表わしたそ

の位置に、白を表わした手の掌を下に向けて、その空間を撫で掃くようにする。一面に白い霜がしいたのを表わす心得。

釈迦 右手の人差指の指頭を額の中央につけ(釈迦の額にあるほくら)——仏

謝罪 「謝る」と同じ手まね。

車掌 電車(或は汽車)——腕章男性

腕章は、右手の人差指と親指を広く開いて、その指頭で左腕の上に横の線を引いて腕章を描く。

写真 「カメラ」と同じ手まね。

喋べる 「云う」の手まねの人差指の前に出す運動を速度を以て繰返す。

謝礼 有離—云う。

自由 自分好きへ通り(一緒)——行い

周囲 (ハ) 右手の人差指と親指を広く開いて、左手掌の上に親指の方の指頭をのせ、それを軸にして、コンパスを廻らすように